



発行所 東温市田窪2135 愛媛県立 しげのふ特別支援学校 印刷所 株式会社 松栄印刷所



# 「レジリエンス」と「ウェルビーイング」

校長 稲荷 邦仁

表題の「レジリエンス」と「ウェルビーイング」という言葉は、最近注目を浴びている言葉です。「レジリエンス」は、もともと心理学の分野で使われていた概念で、困難や脅威に直面している状況にうまく適応できる能力を意味します。言わば、「逆境を乗り越える力」と言えると思います。東日本大震災以後の災害復興の中で、「レジリエンス」という言葉が広く一般に用いられるようになり、コロナ禍を経て、二十一世紀を生き抜くために必要なスキルであると捉えられています。「レジリエンス」を培うために大切なことは、「失敗を恐れず何事にもチャレンジし小さな成功を積み重ねていくこと」と言われており、私は「レジリエンス」の育成が、「チャレンジし続ける幼児児童生徒の育成」を知りたい伝えたい「やってみよう」という本校の重点努力目標に大きく関連していると考えています。

一方、「ウェルビーイング」という言葉は、「幸福」を指します。そして、子どもの「ウェルビーイング」には、「レジリエンス」の育成が重要であるという調査結果が出されています。また、「レジリエンス」の育成のためには、大切な事柄についても調査されており、子どもへの養育態度において効果的な項目として、①温かく優しい声で話し掛ける、②スキップをとる、③子どもが求めることに応える、④やりたがることに取り組める環境を用意する、ことが大切であると示されています。また、①子どものことを気に掛けてくれる人(先生)がいる、②子育てについて相談できる人(先生)がいる、などのサポートも明らかにされています。

以上ことから、本校の重点教育目標を達成したり、「ウェルビーイング」を実現したりするためには、子どもたちの「レジリエンス」を高めていくことが大切であるということが分かりますが、そのためには、学校と家庭が十分に連携を図り、お互いに協力し合うということが不可欠であると思います。これから子どもたちの確かな成長に向けて、学校と家庭が両輪として協力し合い、子どもたちの「ウェルビーイング」の実現に向けてチームで取り組んでいきましょう。

## 部 通 信

### 笑顔いっぱい修学旅行!

幼・小学部

コロナ禍で、小学部六年生が数年ぶりに学校を飛び出した先は修学旅行。今年は一泊二日の修学旅行。十月五日から香川班、十月二十六日から松山班が修学旅行に行きました。行先や活動内容を加えた修学旅行の歌を何度も何度も聞いて盛り上がりました。

一緒に事前学習を行い、互いの修学旅行を楽しみにしていた子どもたち。また、お小遣いで大切な家族を思つて買物もしました。家族や仲間を思う優しい気持ちが見られました。

香川班は、四国水族館で、事前学習で出てきた魚を探すゲームをしました。積極的に探す子どもたち。広い館内で友達や先生を見つけたら笑顔になって、互いに見つけた魚カードを見せ合いました。また松山班は、砥部焼の皿に絵付けしました。事前学習を思い出して筆を横に横にしつかり動かし、素敵な皿を完成させました。

そして、みんなが楽しみにしていたホテルでの宿泊。みんなで浴衣に着替えて、みんなで食事。先生と入浴。互いを見て喜び合います。先生と入浴。互いを見て喜び合います。素敵な笑顔がたくさん見られた修学旅行。その思い出は、きっと子どもたちの胸にしつかりと刻まれたことでしょう。

四月からは、いよいよ中学生です。先輩や仲間と一緒に笑顔いっぱいの中生活を楽しんでください。みんなを心から応援しています!



### 中学部での思い出

中学部

入学時より、コロナ禍で過ごして三年目。中学部の最高学年となり、迎えた四月。元氣よく入学してきた一年生、一緒に勉強を積み重ねてきた二年生のお手本になれるよう、気持ちを引き締めて、三年生としての生活がスタートしました。

感染症対策をしつかり行いながら、一学期は中学部みんなで力を合わせて、運動会や夏祭りなどを楽しみました。三年生は団長を務めるなど、率先して後輩たちを引っ張りまわした。

二学期は、みんなが楽しみにしていた修学旅行です。中学部に入学して以来、初めての校外での活動、しかも県外、宿泊……と盛りだくさんの内容でした。四国水族館に行つてイルカショーや大水槽の魚を見たり、ホテルのおいしいランチを食べたり、大きなお風呂に入つたり、みんなと一緒に部屋で過ごしたり……普段はできない経験を積み重ね、楽しい思い出がたくさんできました。

あつという間の三年間でしたが、楽しい思い出が、数えきれないくらいたくさんありました。これからもいろいろな経験をたくさん積み重ねて、笑顔あふれる日々を過ごしてください。



### 祝 卒業

高等部

皆さんの高等部での生活は、新型コロナウイルス感染症に気を付けながらの毎日でした。そんな困難な中でも、皆でアイデアを出し合い、協力しながら乗り越えてきました。

二学期になり九月には、高等部になって初めての校外学習へ行きました。高島屋では、限られたお小遣いの中で、自分の欲しい物を見付けようと広い店内を回りました。十月の修学旅行では、徳島県と香川県へ行きました。バスに乗って普段と違う景色を見るだけで生き生きとした表情になりました。大塚国際美術館では、作品の美しさや大きさに感動したり、同じポーズをとって写真撮影をしたりして楽しみました。四国水族館では、賢いイルカたちの芸に歓声を上げ、拍手を送りました。家族にお土産を買いに、一生懸命でくれたお土産を買って、拍手を送りました。食べ物と雑貨では、どちらの方が喜んでくれるか時間を掛けて悩んでいました。旅の最後には、出迎えてくれた保護者の姿に安心して号泣した生徒もいました。経験したこと全てがかけがえのない思い出になったことでしょう。

最後になりますが三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。しげのふ特別支援学校で学んだこと、頑張ったこと、楽しかったこと全てが力になります。自信を持って羽ばたいてください。新しい生活に幸多きことを願っています。

